

『こども食堂 陽気なキッチン』訪問



10月14日(火)の夕方、久保田支部長、伊藤副支部長、矢部幹事長、宮川の4名で緑町で開催されている『こども食堂 陽気なキッチン』を訪問し、代表の平野様へ校友会西東京市地域支部を代表して久保田支部長より寄付金を贈呈いたしました。

平野様からは謝意のお言葉を賜るとともに、運営に関するご説明をいただきました。

こちらのこども食堂は、7年前から月に1度、毎月14日、16時から19時30分まで開かれているとのこと、お邪魔した際には第一波のピークを過ぎていたものの、お母さんと一緒にカレーライスを食べ、みなさんリラックスされていらっしゃいました。

利用料金は子供は無料、大人(保護者)は200円とのことでした。

平野様に伺ったところでは、経済的困窮家庭が増加するなかで、開催日には200人程の親子が利用されるとのこと、17時半頃から学童保育や保育園を終えた子ども達を中心に第二波として70名を超える方々がお越しになるとのことでした。

昨今、お米をはじめとした諸物価の高騰で運営は厳しいとのことですが、善意の食材提供等でやり繰りされているとのことでした。この日も、12升のごはんを炊かれたそうです。調理をされるボランティアの方々も近隣の方々に加え、大学生等も参加され、善意の裾野が広がってきているとのことでした。



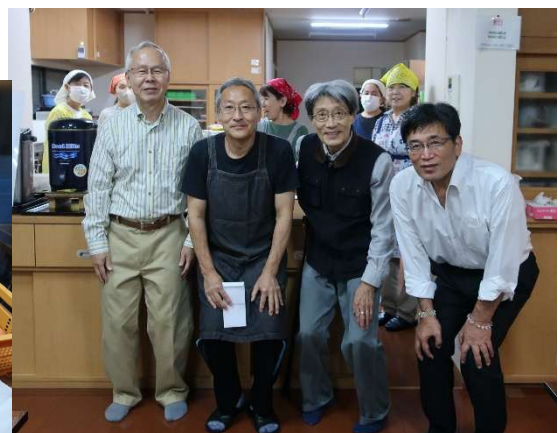
(↑ 寄付された古着)

また、子ども用の古着や近隣の農家等から寄せられた規格外のサツマイモや柿やみかんも自由に持ち帰れるように並べられていました。

校友のみなさんも、米やカレー粉をはじめ日持ちする食材やお子様、お孫さんの不要になった衣類等ありましたら、久保田支部長にご連絡いただくか、直接平野様のところへお寄せください。ご協力お願いいたします。



(寄せられた柿やサツマイモほか)



(報告・撮影: 宮川 孝之)